



L コマンド

この章では、L で始まる Cisco NX-OS Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) コマンドについて説明します。

log-adjacency-changes (EIGRP)

Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) 隣接状態変更のロギングをイネーブルにするには、**log-adjacency-changes** コマンドを使用します。EIGRP 隣接状態変更のロギングをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

log-adjacency-changes

no log-adjacency-changes

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

隣接の変更はロギングされません。

コマンドモード

アドレスファミリー コンフィギュレーション モード
ルータ コンフィギュレーション モード
ルータ VRF コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、EIGRP 1 に関する隣接状態変更のロギングをイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 1
switch(config-router)# address-family ipv4
switch(config-router-af)# log-adjacency-changes
switch(config-router-af)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip eigrp log-neighbor-changes	特定のインターフェイスのネイバーに対する変更をロギングします。
ip eigrp log-neighbor-warnings	特定のインターフェイスのネイバー警告メッセージをロギングします。
show ip eigrp interfaces	EIGRP インターフェイスに関する情報を表示します。

log-neighbor-warnings

Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP) ネイバー警告メッセージのロギングをイネーブルにするには、**log-neighbor-warnings** コマンドを使用します。EIGRP ネイバー警告メッセージのロギングをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

log-neighbor-warnings [*seconds*]

no log-neighbor-warnings [*seconds*]

構文の説明

<i>seconds</i>	(任意) ネイバー警告メッセージの反復間隔。有効範囲は 1 ~ 65535 です。
----------------	---

コマンド デフォルト

ネイバー警告メッセージがロギングされます。

コマンド モード

アドレスファミリ コンフィギュレーション モード
ルータ コンフィギュレーション モード
ルータ VRF コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ネイバー警告メッセージをイネーブルにして、ネイバー警告メッセージの反復間隔を設定するには、**log-neighbor-warnings** コマンドを使用します。

このコマンドには、LAN Base Services ライセンスが必要です。

例

次に、EIGRP プロセス 209 のネイバー警告メッセージがログに記録され、5 分 (300 秒) 間隔で警告メッセージが反復される例を示します。

```
switch(config)# router eigrp 209
switch(config-router)# log-neighbor-warnings 30
switch(config-router)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
log-adjacency-changes	EIGRP 隣接状態変更のロギングをイネーブルにします。
show ip eigrp interfaces	EIGRP インターフェイスに関する情報を表示します。

